

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	特定非営利活動法人劇空間夢幻工房
事業名	NPO法人 劇空間夢幻工房プロデュース公演 vol.1

事業内容

●**演目** ファンタジーミュージカル「チュイチュイ～左手のバイオリン弾き～」
逆弾きのバイオリニスト・牧美花さんの半生を元に、師弟愛、親子・姉妹愛、友愛を描きながら、生演奏、歌、ダンス、身体表現を織り交ぜ、視覚・聴覚・皮膚感覚に響く作品を創作。今後の展開を考慮し、機動力が高い少人数チームを編成。作品のテイストとしては、不思議の国のアリスの下敷きにしたファンタジー仕立ての音楽劇として創作し、親子で観劇できる舞台を目指した。

●**開演前** オープニングアクト 劇団研修生&キッズによる「星のない町 ぼくの町」劇中歌&ダンスメドレー
夢幻の所属員である研修生とキッズ（小・中学生）の発表の場として、チュイチュイ公演の前座として、発表の機会を提供。昨年3月にメセナホールで上演し好評をいただいた「星のない町 ぼくの町」で踊ったダンスを短縮しメドレーとして創作。振付がなかった劇中歌の振付を団員たちがつくりこすることで想像力を培い、ダンス練習による身体能力向上と、異年齢のメンバーとの協働作業を通じてコミュニケーション能力向上を目指した。

事業の成果

- 1～3月にかけて、安曇野市・伊那市・飯山市の共催公演として本作品を上演し、各会場で好評をいただいた結果、長野公演は本番一週間前に前売券が完売、市外からのご来場者も多く、観劇目的の東京や県外の方が長野市観光をする機会にもなった。
- 大勢の長野市民がご来場くださり、アンケートに感想を記載して下さる方が多数で、多くの市民の感性を刺激することができた。
- 観劇経験のない市民のご来場が多く、舞台芸術の面白さ、素晴らしさを知っていただく機会となった。
- 本作品を通して、子育て環境の大切さを考える市民が増加し、観劇された方から「もっと多くの人に観ていただくべき作品である」という声が届き、ハンディを持つ方への理解が深まると同時に、困難に遭遇しても諦めず、コツコツ努力し続ける大切さと、家族愛・友愛・師弟愛の大切さを体感していただけたことは大きな成果である。
- オープニングアクトを含め、幼児～80代の方まで、2時間の作品を飽きずに楽しみながら感動していただけたことにより、再演や次回作を期待する声も多く、長野市の観劇人口増加に繋がる公演となった。

今後の取り組み

- ・フットワーク軽く各地で質の高いステージを提供できるよう、公演のリサイズ化を図る。
- ・今回の長野公演はチケットが完売したため、観劇できなかった方も多く、事務局に次回公演の問い合わせもあるので、できれば来年度は教育委員会にご相談して親子向けのご共催公演として上演できるよう、働きかけをしていきたい。
- ・今後も県内各地で公演活動を行いつつ、全国展開への足掛かりとなる県外公演を目指す。
- ・今年は8月に大町市と茅野市で共催・提携公演を行うことが決定。この他、佐久市コスモホール館長にもご相談中。また、全国展開への第一歩として岐阜県可児市文化創造センターに打診済み。スズキ・メソードの関係者も強い関心を抱いてくださっており、メソードからお声がけをいただけるよう、今後もこのご縁を大切にしていきたい。
- ・誕生した瞬間から、子どもが多くのことを吸収しているという認識を多くの方に知っていただくために、現在行っている乳幼児才能講座を月1回ペースで継続し、親が育ち子が育つ講座に成長させつつ、他地域でもワークショップを行っていきたい。

実施状況



(写真説明1) 美花&ミカ、姉の美里、鈴木先生



(写真説明2) チュイチュイ エンディング



(写真説明3) オープニングアクト



(写真説明4) 舞台関係者の集合写真